

2020年度秋学期開講科目対面授業一覧（矢上）の公開について

2020年度秋学期に矢上キャンパスで開講される対面授業科目の一覧を公開しました。履修科目の詳細について各自確認してください。こちらに記載のない科目（総合教育科目・大学院設置科目を含む）はすべて【オンライン授業】になります。オンライン授業がオンデマンド型教材を利用して実施されるか、リアルタイム型教材を利用して実施されるかは各自履修する科目のシラバスをご確認ください。なお、矢上キャンパス開講科目においては、原則として全科目でオンデマンド型教材を準備する方針で運用いたします。リアルタイムで実施された授業においても、ネットワーク障害などが原因で参加できない学生の皆さまのためにオンデマンド教材が準備されます。

重要なお知らせ

【シラバスについて】

・ 秋学期のシラバスは9月10日(木)に修正版が確定しました。履修する科目のシラバスを改めて確認してください。

【対面による授業・期末試験について】

・ 対面を予定している授業についてもオンデマンド教材で履修することが可能です。詳しくは担当教員に事前に相談いただき、指示に従ってください。なお、体調面に不安がある場合は、対面授業には出席せず、オンデマンド教材による受講をしていただくことになります。

・ 期末試験に関する情報は11月以降に塾生サイトまたはkeio.jp ポータル等に掲示しますので必ず確認をしてください。対面による期末試験を受験できない場合の相談は、問い合わせフォームにより受け付ける予定です。

・ 不明な点は「[矢上学生課](#)」に問い合わせてください。

2020年度 秋学期開講科目 対面授業一覧

学科名	科目名	採点責任者	学年	曜日時限	オンライン授業		対面授業 対面授業の日付	使用教室	実験実習授業の方針
					オンデマンド	リアルタイム			
機械	機械工学総合実験	深淵 康二	3	火3/火4/木3/木4	○	○	毎週	34棟2階(機械系実験室), 3階(デザインセンター)	資料はオンデマンド, ディスカッションは対面とリアルタイム
機械	機械工学デザイン演習	加藤 健郎	3	火3/火4/木3/木4	○	○	各クォーターに1-2回	34棟2階(機械系実験室), 3階(デザインセンター)	10名程度の班ごとに実機を見たいなどの希望に応じて随時来校してもらう
機械	機械工学創造演習	安藤 景太	2	月4/月5/金3/金4	○	○	毎週	34棟1階(機械系実験室), 2階(機械系実験室), 3階(デザインセンター)	学生は隔週で来校, 奇数班偶数班が隔週で来校するため毎週対面あり
電情	電気情報工学実験第2	真田 幸俊	3	木1/木2/木3/木4/木5	○	○	登校可能な場合、リアルタイム実験に代えて行う。オンキャンパス実施の場合、ラッシュアワーを避け、10時開始、16時までの実施とする。	23-105: 半導体デバイス 23-106: 映像化システム 23-107: 映像化システム 23-108: 映像化システム 23-113: 生体マシントラフェース(予備) 23-115: 生体マシントラフェース 23-116: 生体マシントラフェース 32-102: マルチアンテナシステム(最大学生2名+TA, 教員) 23-205: ロボットビジョン(最大学生12名+TA, 教員)	<ul style="list-style-type: none"> 半導体デバイス オンライン(オンデマンド型)。希望者のみクリーンルーム作業体験(オンキャンパス)を実施予定。 レーザー オンライン(オンデマンド型)。 PCM通信 1,2週目はオンライン(オンデマンド型)。 3週目をオンライン(リアルタイム型(双方向型))。 映像化システム オンデマンド教材+オンラインのプレゼンテーションで実施する。 オンデマンド教材で提供する内容の一部(半日程度の実験内容)をオンキャンパスで行う。 生体マシントラフェース オンキャンパス。入構が厳しい場合は、同期型オンライン授業(同時双方向型)へ移行。 ロボットビジョン オンキャンパス。入構が厳しい場合は、同期型オンライン授業(同時双方向型)へ移行。 マルチアンテナ オンキャンパスとオンライン(同期型オンライン授業(同時双方向型))の選択制。 オンラインの中で、2種類の選択制(学内PCへのリモート接続 or 個人所有PC使用)
応化	応用化学実験C 応用化学実験D	応用化学実験C: 今井 宏明 応用化学実験D: 朝倉 浩一	3	火3/火4/火5/木3/木4/木5	○	○	対面授業または遠隔授業で実施する実験テーマに分け、1回につき履修者の約1/3(40名程度)が順に対面授業を受ける。対面授業も説明にオンデマンド型教材を利用する。遠隔授業では授業時間内にオンラインでディスカッションを行う機会を設ける。オンデマンド型教材は音声付き資料型または資料配付型とする。対面授業を希望しない学生はすべての実験テーマを遠隔授業として受講できる。	化学/応用化学系共通実験室(34-408, 34-409, 34-410)	応用化学実験は学科として感染予防対策に関する教育を行う予定です。いずれも、学生の事情や希望に応じて、すべてオンラインでも受講できるようにする見込みです。対面での実験の実施に当たって、マスクの着用、体温計測、手指衛生を徹底し、実験の説明には飛沫の飛散を防ぐためオンデマンド動画を活用し、学生間に2m程度の距離を保つことや、実験室内を十分に換気する予定です(既存の設備で十分な換気能力があることを確認済み)。全履修者の3分の1程度(約40名)のみが登校する予定です。それ以外の学生はオンラインで受講します。
物情	物理情報工学実験C 物理情報工学実験D	的場 正恵	3	火3/火4/火5/木3/木4/木5	○	○	学生1名につき2-3回程度登校して、対面で実験を行う。	物理情報実験室	対面とオンラインのハイブリッドで実施予定。ただし、対面での実験実施に伴う矢上への登校は一人当たり秋学期のうち2~3回程度になる予定で主にはオンラインでの実験実施を予定している。
管理	管理工学実験・演習4 管理工学実験・演習5 管理工学実験・演習6	管理工学実験・演習4: 成島 康史 管理工学実験・演習5: 鈴木 秀男 管理工学実験・演習6: 今井 潤一	3	木1/木2/木3/木4/木5	○	○	履修学生を3グループに分け、うち2つは対面、1つはオンデマンド(質疑対応など、部分的にリアルタイムで行う可能性あり)10/29、11/5、11/19に、対面授業の実施を予定している。また、12/17に対面による授業内試験の実施を予定している。	12-203と 12-104,105,106のうちいずれか(計2教室)	約110名の履修学生を、 α (対面授業)、 β (対面授業)、 γ (オンライン授業)の3つに分けて、対面授業で提供するテーマについては、事実上、3回行うことになります。(詳細な計画あり)
管理	人間工学VI	大門 樹	3	月2	○	○	12回のうち4回程度、実習室にてMATLABによる生体信号解析の実習を行う。	12-203	対面を希望する学生のみ実習室にて対面方式で行い、オンラインを希望する学生は実習室での対面方式の際にオンライン(もしくはオンデマンド)でも対応。実習以外の日は、オンライン授業(オンデマンド)で実施。
管理	人間工学V	岡田 有策	3	土3/土4/土5	○	○	(リアルタイムを録画しておき、事後閲覧可能なようにする)	12-104,105,106のうちいずれか1教室	対面授業を矢上から同時ライブ配信(Zoom)。また、その内容を録画し、オンデマンド教材として出席できなかった人にも後日見られるようにBoxから配信。この矢上からのオンライン配信講義に希望者は対面での出席。詳細は授業支援にてお知らせします。
数理	代数学第2	栗原 将人	3	月1	○	○	毎週	最初の2回(10/5,12)は12-202Aで行い、3回目以降は履修者人数により決める	
数理	関数方程式第1回演習	曾我 幸平	3	月2/月3	○	○	毎週	最初の2回(10/5,12)は12-202Aで行い、3回目以降は履修者人数により決める	
数理	データ解析同演習	南 美穂子	3	月4/月5	○	○	毎週	理工学ITCワークステーションルーム14-B101	
数理	数理科学基礎第2	太田 克弘	2	火2	○	○	毎週	最初の2回(10/6,13)は12-202A,B,Cを使用する。以降は履修者人数により決める	
物理	物理学実験第2	岡 朋治	3	月3/月4/月5/金3/金4/金5	○	○	週1または2回、対面実験(人数は未定)	22-107 22-111 23-201 22-001D (以上物理学学生実験室)	
物理	計算物理学実習	山内 淳	3	木4/木5	○	○	毎週	理工学ITCワークステーションルーム	

2020年度 秋学期開講科目 対面授業一覧

学科名	科目名	採点責任者	学年	曜日時限	オンライン授業		対面授業	使用教室	実験実習授業の方針
					オンデマンド	リアルタイム	対面授業の日付		
化学	化学実験第2	山田 徹	3	火3/火4/火5/木3/木4/木5	○		毎週（各学生の対面授業は週1回）	化学実験室（34-415）	履修者を2グループに分け、火曜対面-木曜オンライン組と火曜オンライン-木曜対面授業組に分けて実施する。全ての対面実験についてもオンデマンド型教材（動画）を準備
S D	アドバンスドマニファクチュアリング演習	青山 英樹	4	金1/金2	○		1 2回中5回をマニファクチュアリングセンターにて対面授業	マニファクチュアリングセンター14-B102	1 2回中5回をマニファクチュアリングセンターにて対面授業 1 2回中2回を14-B102にて対面授業（CADソフト利用）
S D	システムデザイン工学演習	青山 英樹	3	火1/火2	○		7名の教員で担当し、1グループ15名程度とする。 1 2回中、3～6回程度を対面講義とする予定。	12-209,210,211 34-317	7名の教員で担当し、1グループ15名程度とする。 1 2回中、3～6回程度を対面講義とする予定。
S D	社会・経済・文化と工学	小楯山 雅之	3	火4	○		1 2回中4回、対面授業。3グループ、3部屋に分けてグループディスカッション。	12-209,210,211	1 2回中4回、対面授業。3グループ、3部屋に分けてグループディスカッション。
S D	データシステムの知能化とデザイン	西 宏章	3	火3	○		割り当て教室(12-209,210,211)で教員が待機して、演習に対する質問を受け付ける	12-209,210,211	
S D	プログラミング演習	P組：中澤 和夫 Q組：高橋 正樹	2	金1/金2	○		P組(12棟2階) 2グループに分割して各回で登校 Q組(34棟2階) 2グループに分割して各回で登校	12-203 34-317	P組(12棟2階) 2グループに分割して各回で登校 Q組(34棟2階) 2グループに分割して各回で登校 通勤ラッシュ時間を回避するため、オンライン授業動画を事前に公開。2時限目から演習中心で対面。
情報	情報工学実験第2	斎藤 英雄	3	月2/月3/月4/月5	○	○	実験テーマ毎に対面かオンラインかを選択	14-B102/103, 23-121/122/118, 32-205/102, 23-106/107/108/116	5テーマ中の対面での実施が効果的なテーマについて、実験室での実施を前提とする。他のテーマについては希望調査に基づいて登校してのオンライン実験を可能とする。
情報	プログラミング第3回演習	山崎 信行	3	火4/火5	○	○	毎週	14-B101	履修者が40名程度のため、定員を減らしたWSルームで全員を取容する。希望者はオンラインでの受講を可能とする。
生命	生命情報実験C 生命情報実験D	岡 浩太郎	3	木3/木4/木5/金3/金4/金5	— (リアルタイムを録画しておき、事後閲覧可能なようにアーカイブする)	○	10/1 (木)、10/2 (金) 10/8 (木)、10/9 (金) 10/15 (木)、10/16 (金) 10/22 (木)、10/23 (金) 10/29 (木)、10/30 (金) 11/5 (木)、11/6 (金) 11/12 (木)、11/13 (金) 11/19 (木)、11/20 (金) 11/26 (木)、11/27 (金) 12/3 (木)、12/4 (金) 12/10 (木)、12/11 (金) 12/17 (木)、12/18 (金)	32棟1F生命情報実験室 32棟2F生命情報実験室 14棟B102 (ITC)	対面できるテーマを選定し、通常の半分の密度で実施できる様に期間を伸ばして実施します（実施回数を増やし、一回あたりを少人数化） プログラミング中心のテーマは、オンラインで実施します。 いずれも録画をして、異時に（事後に）閲覧して受講できる様に配慮します。